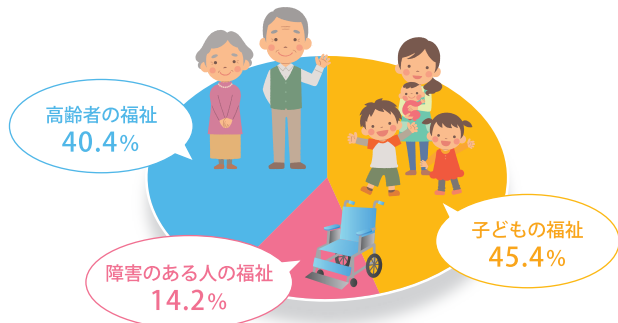


## ご寄付のご案内

皆様からのご寄付は  
以下のような事業に使われます。

(2017年度事業活動予算、東日本大震災救援事業を含みます)



その他 公益事業としてガイドブックやDVDの発行  
福祉啓発事業なども行っています。

事業総額  
**2億3,846万円**

朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業は皆様からのご寄付で実施されています。  
寄付者名・団体名は朝日新聞の地域面に掲載します(千円以上。匿名扱いもできます)。

### ご寄付やお問い合わせ

- 郵便振替 「寄付専用」郵便振替用紙をお使い下さい。お手元  
にない場合は、当事業団が払込料金を負担する振替用紙  
をご請求ください。または、口座番号「00130・1・9166」  
(加入者名＝朝日新聞厚生文化事業団、通信欄に「寄付」、  
領収書不要の場合もそのように明記)までご送金下さい。
- 銀行振り込みやクレジットカードによるご寄付もできるよ  
うになりました。事業団ホームページからご寄付の手続きが  
できます。
- 現金受付  
朝日新聞本社内の厚生文化事業団窓口  
(平日午前10時～午後5時30分)や朝日新聞の各総局など  
※寄付金控除 当事業団へのご寄付は個人の場合、所得控除と  
税額控除の二つの寄付金控除のいずれか有利な方をお選び  
いただけます。この優遇を受ける場合、確定申告をしていた  
だく必要があります。相続税が非課税となる遺贈・遺言のご  
相談も含め事業団へお問い合わせください。
- 事業団ホームページから事業報告書をダウンロードでき  
ます。より詳しい事業内容をお知りになりたい方は、そちら  
をご覧ください。か、当事業団までご請求ください。

## 「朝日の社会福祉 2017 年の主な活動」

2017 年 11 月発行

社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

# 共に生きる 豊かな福祉社会 のために

朝日の社会福祉  
2017年の事業

## 朝日の社会福祉

朝日新聞厚生文化事業団は  
「福祉を支える地域づくり」  
「福祉を担う人づくり」  
「支援の輪づくり」

を軸に社会福祉事業に取り組み、  
2018年に創設90周年を迎えます。



THE ASAHI SHIMBUN SOCIAL WELFARE ORGANIZATION

社会福祉法人  
**朝日新聞厚生文化事業団**

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

# 子どもの明日を照らす

朝日の社会福祉  
2017年の事業

## 朝日こどもの未来 チェンジメーカー養成講座



子どもたちの幸せを願い貧困問題に取り組んでいる人たちが、全国の仲間たちとつながり、より良い支援を続けられるようにと合宿形式の講習会を11月に開きました。先進的な活動をしてきた団体の代表や行政マンらを講師に、様々な事例や協力者を巻き込むためのノウハウを学びました。「支える人を支える」ための取り組みを、今後も続けていきます。

## 高校生進学応援金

児童養護施設や里親家庭から大学や専門学校への進学を目指す高校生に、入学金に加え学費として卒業するまで年間60万円(最大6年間360万円)、返還不要の応援金を贈っています。また、在学中のサポートにつなげるため、入学前の3月には「応援金のつどい」を開きました。

この事業はご寄付と山岡こども応援資金、原田積善会のご協力で行っています。

## こども応援金

東日本大震災で両親を亡くした子どもに、使い道を問わない応援金(150万円～300万円)を直接、渡しています。これまで202人に総額4億8850万円を贈りました。

## 朝日夏季保育大学



保育士や幼稚園教諭のスキルアップを目指し、長野県諏訪市で毎夏開いています。17年は「子どもの自己肯定感」をテーマに、詩人の谷川俊太郎さんらを招きました。2日間でのべ約1,200人が参加しました。

## 親子で楽しむ クリスマス コンサート

あそびうたや踊りで子どもも大人も楽しめる愉快的ステージを届けています。17年は保育現場で人気の曲「にじ」「世界中のこどもたちが」などを作った、中川ひろたかさんと新沢としひこさんが出演します。



16年のコンサート



# 障害のある人を支える

朝日の社会福祉  
2017年の事業

## 全国高校生の手話による スピーチコンテスト



手話の普及を願い1984年から開いています。全国から選ばれた10人が、ろう者とのかわりから感じたことや、自分の挑戦していること、将来へかける思いなどを手話とスピーチで披露し、学びの成果を競います。

## 自閉症カンファレンス NIPPON

自閉症を正しく理解し、支援に生かすための最新の情報や実践を知ることができる、国内最大級の会議です。17年は米国と英国から講師を招き、現地での質の高い自閉症支援の実際や、教育について学びました。



## 聖明・朝日盲大学生奨学金



視覚障害のある大学生のための奨学金です。月額4万円を貸与しています。第49期奨学生には都内の大学に在籍する3人が選ばれました。聖明福祉協会と事業団が主催しています。

## 朝日九州車いす バスケットボール選手権大会

日本車椅子バスケットボール選手権大会出場をかけ、九州・沖縄のチームが熱戦を繰り広げます。九州車椅子バスケットボール連盟と共催しています。



## 高次脳機能障害講演会



脳卒中や交通事故などにより脳に損傷を負い、後遺障害が残った人の暮らしや働き方を考える講演会を9月と10月に開きました。社会復帰への理解と援助が広がることをめざしています。

# 老いても安心な社会へ

朝日の社会福祉  
2017年の事業

## シンポジウム 「認知症になっても安心して 暮らせる街づくりをめざして」



「第32回国際アルツハイマー病協会 (ADI) 国際会議」プレイベントとして、事業団、認知症の人と家族の会、朝日新聞社の3者によるシンポジウムを2月に東京と大阪で開催しました。官民あわせて認知症の人にやさしい街づくりを進める英国プリマス市と会場をTV会議システムで結び、話し合いました。

## ともにつくる認知症カフェ 開設応援助成

認知症カフェを新たに立ち上げようとしている全国の16団体に、総額約1千万円を助成しました。贈呈後も研修や交流の機会を設け、運営を支えています。

## 高齢ドライバーについて 考える講演会



高齢者がいつまでも安心、安全な運転を続けるためには何に気をつければいいのか。認知症を正しく理解しながら考える、専門家による講演会を7月と9月に開きました。

## ゆうゆうビジット

一流の音楽家や力士たちが、全国の高齢者施設を訪ねます。ミニコンサートや交流を通して、外出の機会が少ない高齢者たちに楽しい時間をお届けします。



## 高齢期の豊かなくらしセミナー



高齢期に直面する生活面での問題を、市民の視点に立って考え情報提供をしています。17年度は、高齢期の住まいとくらし、高齢期を迎えるための準備についてなど3講座を開催。

# 被災地の力に

朝日の社会福祉  
2017年の事業

## 九州豪雨

7月に起きた九州豪雨の被災者のため、朝日新聞社と事業団が受け付けた救援金は、計3175万1017円に上りました。この全額を日本赤十字社に送りました。また、現地で復興の最前線に立つ「朝倉市災害ボランティアセンター」に、事業団の独自支援として家屋の土砂撤去作業に使用する資材(土嚢袋2千枚)を寄贈しました。今後も現地のニーズを踏まえながら、迅速な支援活動を行います。

## 熊本地震被災障害者への支援



地震発生直後から現地で障害者支援を続けている「被災地障害者センターくまもと」に、活動の助けとなる資材の保管倉庫、テントを寄贈しました。

## 朝日のあたる家 (岩手県陸前高田市)



東日本大震災後の2013年に完成し、地元のコミュニティ拠点として認知症カフェや各種地域活動に活用されています。17年度からは市の要請でデイサービスの委託を受けています。

## 復興支援コンサート

被災地の方々に、音楽を通して心やすまるひとときを届けています。17年はバイオリニストの千住真理子さんが、福島県いわき市や楢葉町などを訪れ、演奏を披露しました。



## グリーフサポート



震災で大切な人をなくした子どもたちの苦しみや悲しみに、遊びや会話を通して寄り添う「グリーフサポートプログラム」を、地域の人とともに進めています。

# 文化と福祉をつなげる

朝日の社会福祉  
2017年の事業

## 朝日チャリティー美術展 (東京・大阪・名古屋)



文化勲章受章者や人間国宝を含む全国の芸術家や著名人から寄贈された作品を販売し、収益を社会福祉事業に充てる美術展です。

## メサイア演奏会(東京)



毎年12月にヘンデル作曲の「メサイア」を藝大フィルハーモニア管弦楽団演奏、同大音楽科学生の合唱で上演しています。戦災で家族を失った子らの支援を目的に1951年に始まった演奏会です。

## 洋舞合同祭(大阪)



モダンダンスとクラシックバレエの祭典「洋舞合同祭」を、12月にフェスティバルホールで開催しています。児童や大人のチームが、3日間にわたり華麗なステージを繰り広げます。

## 各派合同三曲演奏会(大阪)



西日本の箏、三絃、尺八の世界で活躍する邦楽の各派中が競演する合同演奏会です。毎年11月に開かれ、会場は次々と奏でられる優美な和の音色に染まります。

## 茶会(大阪・北九州)



各流派の茶道宗匠の協力を得て、いろいろな流派のお茶席が気軽に体験できる合同茶会や、関西の大学茶道部による学生チャリティー茶会などを開いています。



## 福祉啓発や各種講座

### 遺贈・遺言セミナー (東京・大阪・福岡)



遺言の書き方、遺贈の仕組みや寄付の方法などの「老いじたく」を、弁護士がわかりやすく解説するセミナーです。

### 自殺防止公開講座(福岡)

自殺を防ぐために何が出て来るのかを考える公開講座を開いています。17年は「はなちゃんのみそ汁」共著者の安武信吾氏といのちの尊さについて考えました。



### アサヒベビー相談室



病気や発育など、育児の悩みに、医師や歯科医師、栄養士といった専門家がこたえます。あべのハルカス近鉄本店など関西のデパート3店の中で実施しています。



## 朝日福祉ガイドブック

|                    |       |
|--------------------|-------|
| ◆なるほど高次脳機能障害       | 1296円 |
| ◆認知症とともに           | 1080円 |
| ◆みんなのうつ            | 1080円 |
| ◆生き方、逝き方ガイドブック     | 1296円 |
| ◆自閉症のひとたちへの援助システム  | 540円  |
| ◆自閉症の人たちを支援するということ | 864円  |
| ◆100%あらたくん         | 648円  |

価格は税込み。別途梱包送料がかかります。

1冊 180円、2-3冊 250円、4-5冊 300円(6冊以上はお問い合わせ下さい)

## 朝日福祉ガイド DVD



- 自閉症の人が求める支援  
全3巻セット価格10,692円／各巻4,320円
- 自閉症の子どもの評価 生活スキル編  
全4巻セット価格18,144円、各巻4,860円
- 自閉症の人が見ている世界  
～自閉症の人を正しく理解する～  
全3巻セット価格10,692円／各巻4,320円
- TEACCHプログラムシリーズ  
米国ノースカロライナ州にみる自閉症教育  
／各巻3,024円
- 自閉症の子どもの自立課題  
全3巻セット価格13,608円／各巻4,860円

価格は税込み。別途梱包送料がかかります。7巻まで510円(8巻以上は800円)

# 「先駆者」として90年

朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉活動は、1923（大正12）年9月の関東大震災に際して朝日新聞社が取り組んだ被災者救援がルーツです。昭和に入って事業団として創設され、2018（平成30）年には90周年を迎えます。

これまでの経験と実績をもとに先駆的な事業に取り組み、皆様の期待に応えていきたいと思ひます。



農繁期託児所の推進へ、優秀な託児所を選び助成金と「慈愛旗」を贈った（1929年ごろ）



東京の養護施設を巡回訪問した「走るサンタクロース」（1963年）



東京の水上生活者を対象に、朝日新聞社が建造した無料診療船（1935年）



普及を願い、東海3県の6団体に電動車いすを贈呈（1977年）



伊勢湾台風被災者へと寄せられた救援物資を運んだ「愛の急行便」（1959年）



養護施設のお年寄りたちを箱根温泉旅行に招待（1965年）

本部  
（東京）

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2  
TEL 03 (5540) 7446 FAX 03 (5565) 1643

大阪  
事務所

〒530-8211 大阪市北区中之島 2-3-18  
TEL 06 (6201) 8008 FAX 06 (6231) 3004

西部  
事務所

〒812-8511 福岡市博多区博多駅前 2-1-1  
TEL 092 (477) 6930 FAX 092 (477) 6931

名古屋  
事務所

〒460-8488 名古屋市中区栄 1-3-3  
TEL 052 (221) 0307 FAX 052 (221) 5453

朝日新聞厚生文化事業団ホームページ

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

E-mail [mail@asahi-welfare.or.jp](mailto:mail@asahi-welfare.or.jp)

facebook <https://www.facebook.com/asahiwelfare/>